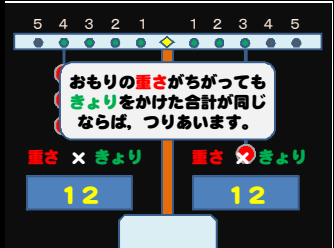
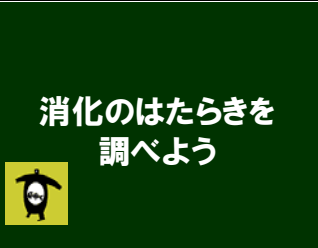
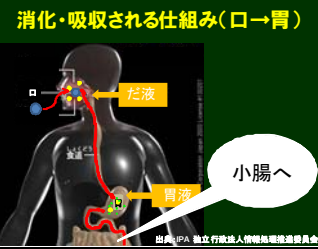
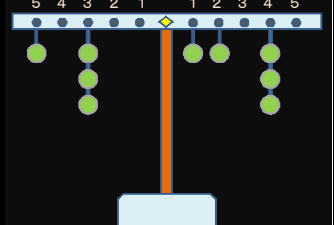
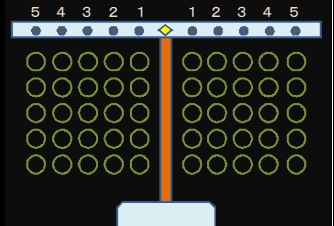
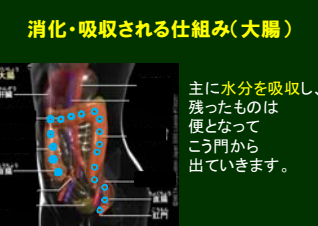


No.9

No.10

5年	教科 (理科)	6年	教科 (理科)
タイトル	てんびんをつり合わせよう②	タイトル	消化のはたらきを調べよう
ねらい てんびんは左右の「重さ×きょり」が等しいときにつり合うことを、練習問題を通して確認する。		ねらい 口から取り入れた食物は、消化管を通る間に消化され、養分は吸収されることがわかる。(知②)	
活用方法・活用場面 「重さ×きょり」の規則を学習したあと、実際に例題を与え計算の練習をさせることで、知識の定着をはかる。		活用方法・活用場面 食物の通り道など、消化の一連の流れが、教科書のみではイメージしにくい。食物が口から次はどこに送られていくか、動きのあるものを提示する。	
スライド	学習活動	スライド	学習活動
	はじめに「重さ×きょり」の規則を確認しておく。		消化のはたらきを前時の学習から思い出す。
	練習問題は合計10問。難易度は★1つから5つまである。		口からこう門までの食べ物の通り道のことを消化管ということを知る。
	難易度3の問題。おもりを複数個使う(教科書では「はってん」扱い)。		口から胃までの食べ物の流れを知る。
	難易度5の問題。全員が解ける必要はないが、クイズ感覚で考えさせたい。		小腸の構造・はたらきを知る。 ※ひだ、とっきの部分にリンク有り。
	用意してある問題を解いた後は、テンプレートを印刷した用紙を配って、子どもたちに問題を作らせる活動も考えられる。		大腸では水分を吸収し、残ったものは便となってこう門から外へ出ていく。